



4/5に行われた摺鉢山会館・浜益南分団詰所完成記念式典



会館1階は地域の集会施設として



鉄骨造平屋建ての分団格納庫

木造2階建ての会館・分団詰所

すりばちやま

併設した浜益の摺鉢山会館

地域の交流の場として



川下自治会
中島会長

柏木自治会
渡邊会長

約230世帯が暮らす浜益区柏木・川下両地区には、それぞれ築40年ほどのコミセンがありました。ともに地域住民の交流の場として大切に活用されてきましたが、2018年9月の胆振東部地震の影響で劣化が進行。安全に利用し続けることが困難となり、両施設は廃止となりました。

それから3年余りを経た本年4月、柏木・川下地区の統合集会施設として新たに誕生したのがこの「摺鉢山会館」(柏木279-1)です。柏木地区の旧浜益スキー場に建設された木造2階建ての建物は、1階に集会室と収納スペースを、2階に消防分団の詰所と災害備蓄倉庫を設けています。

「もともとこの場所は柏木地区内でも高台のため、津波が来たときなどの避難場所に指定されていました。なので、皆さん安心して活用できると思います」と、安堵の表情を浮かべるのは柏木自治会長の渡邊隆之さん。

川下自治会長の中島俊昭さんも「建物は決して大きくありませんが、コンパクトな分、管理もしやすい。さっそく自治会の総会に使わせてもらいます」と今後の予定を教えてくださいました。

摺鉢山会館が地域住民の絆を深める新たな活動拠点になることを期待します。



浜益南分団の皆さん



式典で披露された分団員による放水訓練



分団格納庫には車両2台と、防火装備や資器材を納める



本団
木村副団長

市内初！ 消防分団の詰所を

防災活動の拠点として

摺鉢山会館は、地域住民の交流の場や避難場所として利用されるほか、石狩消防団浜益南分団の詰所が併設されています。敷地内にはほかにも、12mのホース乾燥塔と分団格納庫があり、消防車両や防火装備を納め、車庫下には約40tの防火水槽を完備。このような複合施設は市内でも初めてです。

消防団は、消防職員が勤務する消防署とは別の一般市民から成り立つ組織です。

現在、市内の消防団員数は249人。そのうち浜益区には60人いて、浜益南分団には33人が所属します。

かつて6分団から成り立った浜益の消防団も人口減少に伴い、今では4分団編成に。

本団の木村武彦副団長は「浜益南分団の誕生は、今後の地域全体の消防団のあり方を考えるきっかけになりそうです。立派な詰所ができたことで団員はこれまで以上に活動しやすくなるはず。それを見て消防団に興味を持つ若者が増えることを、私たちは強く願っています」と希望を語ってくれました。

問 広聴・市民生活課

☎ 72・3143

